

平成30年 第1回 臨時

摂津市教育委員会会議録

開催日時 平成30年8月2日(木) 午後1時00分開会
午後1時45分閉会

開催場所 摂津市役所 本館3階 301会議室

付議事件

議案番号	件名	審議結果
34	平成31年度使用摂津市立義務教育諸学校教科用図書、平成31年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書採択の件	承認

出席者

委員 長	大矢優子	教育総務部参事	野本憲宏	教育支援課主幹	小原理乃
委員長職務代理者	福元実	教育政策課長	溝口哲也	教育政策課総務係長	岡田哲也
委員	山手知栄子	教育支援課長	撰田裕美	教育政策課係員	窪 秀昭
委員	西川俊孝	兼教育センター所長			
教育 長	箸尾谷知也				
教育次長兼教育総務部長	北野人土				
次世代育成部長	小林寿弘				

委員長

ただいまから、平成30年第1回教育委員会臨時会を開催いたします。本日の署名委員は西川委員です。よろしくお願いいたします。

本日の付議事件は1件です。

それでは、議案第34号、「平成31年度使用摂津市立義務教育諸学校教科用図書、平成31年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書採択の件」について、教育支援課長より説明をお願いします。

教育支援課長

議案第34号、「平成31年度使用摂津市立義務教育諸学校教科用図書、平成31年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書採択の件」について、ご説明申し上げ承認を求めるものです。

【以下、議案書等により説明】

委員長

それでは審議に入るにあたり、私から本議案に関する本日までの教育委員会としての活動の経過を説明させていただきます。

教育委員会は、平成30年3月30日付文部科学省初等中等教育局長通知「教科書採択における公正確保の徹底等について」、ならびに同日付文部科学省初等中等教育局教科書課長通知「平成31年度使用教科書の採択事務処理について」、及び平成30年4月16日付、大阪府教育委員会教育長通知「義務教育諸学校における平成30年度使用教科用図書の採択について」に基づき、採択の公正確保と静ひつな採択環境の確保に十分留意し、専門的な調査研究活動を行うため、「平成31年度使用学校教育法附則第9条関係図書の選定に関する事項並びに平成31年度使用摂津市立小中学校教科用図書の選定に関する事項」について平成30年4月27日付で、選定委員会に諮問を行いました。

選定委員会では、諮問を受け、小学校「特別の教科 道徳」以外の全教科及び中学校「特別の教科 道徳」の全発行者の教科用図書について調査を行い、それに基づいて教科用図書選定に関する協議を重ねられ、去る平成30年7月18日、教育委員会に対して答申をご提出いただきました。

答申には、附則第9条関係図書の選定に関すること、小学校「特別の教科 道徳」以外の教科については、平成26年度に府教育委員会が提示した小学校教科用図書選定資料や本市における平成2

6年度の調査研究の内容等を活用し、検討した結果、4年間の使用実績等も踏まえ、平成26年度の教育委員会において採択された発行者を推薦すること、中学校「特別の教科 道徳」については、見本本が届けられた全発行者の教科用図書の特徴、選定委員会としてさらに各者を比較した点とその特徴、また、複数者の採択候補が記載されておりました。

答申を受け、教育委員会では、小学校「特別の教科 道徳」以外の教科については、平成26年度に府教育委員会が提示した小学校教科用図書選定資料や本市における平成26年度の調査研究の内容を、中学校「特別の教科 道徳」については、見本本が届けられた全発行者の教科用図書、資料提供された調査員による調査研究報告書、学校及び教育研究会からの意見書、さらには教科書見本本展示会において寄せられた意見等について、各委員が事前に目を通した上で、去る平成30年7月18日と20日に教科用図書採択に関する学習会を開催し、本市の小中学校で使用する平成31年度使用教科用図書の採択について、意見交換等を行ってまいりました。

以上がこれまでの活動の経過です。

各委員から何か補足はございますか。

ないようですので、議案審議に入ります。

まず、平成31年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書採択の件でございます。平成31年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書については、市内小中学校から学校教育法附則第9条関係教科用図書に関する採択の必要性についての申し出がなかったため、今回、採択は行わないこととしたいと思っております。ご意見ございますか。

意見がないようですので、平成31年度使用学校教育法附則第9条関係教科用図書については、今回は採択を行わないこととします。

次に、平成31年度使用摂津市立義務教育諸学校教科用図書採択の件のうち、小学校「特別の教科 道徳」について、でございます。教科用図書は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令により、原則として4年ごとに採択替えを行います。小学校「特別の教科 道徳」については、平成29年度に採択が行われましたが、採択という手続きは毎年必要となります。従いまして、平成30年3月30日付文部科学省初等中等教育局長通知に基づ

き、平成31年度に小学校で使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書については、今年度と同様のものを採択します。

続いて、小学校「特別の教科 道徳」以外の平成31年度使用小学校教科用図書についての審議に入ります。

小学校教科用図書は、平成26年度に採択替えが行われ、本来であれば本年度採択替えの年ですが、教科書会社から新たな検定本がなかったため、前回の平成26年度の見本本の中から採択を行うこととなります。

「特別の教科 道徳」以外の小学校教科用図書については、選定委員会からの答申では、平成26年度に府教育委員会が提示した小学校教科用図書選定資料や本市における調査研究の内容等を活用し、検討を重ね、4年間の使用実績等も踏まえ、平成26年度の教育委員会において採択された発行者を採択することがいいのではないかとのことでした。

改めて、ご意見はございますか。

西川委員

事務局に聞くこととなりますが、現在使われている教科書について、課題や問題等が現場からあがっていますか。

教育支援課長

現在使用している小学校の教科用図書に関しましては、現場や選定委員会から、特に課題や問題があるという報告は受けていません。

委員長職務代理者

小学校の研究発表大会の授業や学校訪問で、先生方が授業をされている風景を拝見しています。当然、教科書を使って授業をされていますが、特に支障があるのではないかと懸念を抱くことはなかったので、特に問題はないと思います。

山手委員

今年新たな検定本が発行されていないということですので、変更する理由はないと思います。

委員長

課題が学校からあがってきていないということ、また、私たちも、特に問題があるように感じず、使っている現場を見ています。それから、検定本が新たに出ていないという意見から、小学校「特別の教科 道徳」以外の平成31年度使用小学校教科用図書については、

別表のとおり現在使用している教科用図書を採択することによりよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

委員長

では、別表のとおり採択することにいたします。

次に、平成31年度使用摂津市立義務教育諸学校教科用図書採択の件のうち、中学校「特別の教科 道徳」を除く教科用図書について、でございます。中学校教科用図書は、平成27年度に採択替えが行われましたが、採択という手続きは毎年必要となります。従いまして、平成30年3月30日付文部科学省初等中等教育局長通知に基づき、平成31年度に中学校で使用する教科用図書については、今年度と同様のものを採択します。

続きまして、平成31年度使用中学校「特別の教科 道徳」教科用図書についての審議に入ります。

まず、過去2回の学習会の内容については、私からご報告させていただきます。報告の後、本日、改めて皆さん方にご審議いただき、採択について最終的に決定したいと存じます。

今回、新たに採択する中学校「特別の教科 道徳」に関しましては、東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書、日本文教出版、学研教育みらい、廣済堂あかつき、日本教科書の8者から見本本が届きました。選定委員会からの答申や各委員の意見では、全発行者とも、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めるために、発問や授業展開等の工夫がなされていました。

「光村図書」は、教材の最後に「学びのテーマ」があり、多様な観点の発問で見方を変えて考えることができる工夫がなされていました。

「学研教育みらい」は、本文にあえてテーマを示さず、生徒自身が何について学ぶかまで考えられるようになっていました。

「廣済堂あかつき」は、普遍的な教材の取り扱いが多く、読み物中心となっています。また、教科書と道徳ノートを相互に活用するようになっていました。

「日本教科書」は、内容項目順に教材が配置されており、教科書の順番にしばられることなく教材を進められるよう工夫されています。

るなどの特徴が挙げられました。

とりわけ、選定委員会から候補として取り上げられた「東京書籍」「学校図書」「教育出版」「日本文教出版」については、特に多くの意見が出されました。

「東京書籍」は、教材が「テーマ」で何について考えるのかを知り、教材を読み「つぶやき」で感じたことを自由に書き込み、「考えてみよう」で自己を見つめ、考えを共有するという1時間の学習の流れが工夫されていました。また、「生命尊重」について、複数教材を組み合わせたユニットで重点的に扱われていました。さらに、巻頭に「道德の時間はこんな時間に」が設定されており、導入や話し合いの手引きなど、見開きで見やすい工夫がされていました。

「学校図書」は、すべての教材で「学びに向かうために」が配置され、「考えよう」「考えよう意見交換」「見つめよう」とパターン化されており、わかりやすい工夫がされていました。また、各教材のねらいや深く考える重要な現代的な課題などが10のポイントマークで示されており、スマートフォンのアプリのようで生徒が親しみやすいと感じました。さらに、「学びの記憶」で全教材に対して文章で学びを振り返ることができる工夫がされていました。

「教育出版」は、教材の導入で意識付けをする問いがあり、何を学習するか、学習の方向性を共有でき、「導入」「本文」「道德的諸価値についての理解を深める発問」という流れがあり、主体的・対話的で深い学びを実現しやすい工夫がされています。また、「道德的諸価値についての理解を深める発問」で「学びの道しるべ」があり、「何が問題か」「自分ならどうするか」「これからの自分はどうか」「ありたいか」という問いが設定されています。また、教科書の重さや行間や行数がわかるポイントなど、ユニバーサルデザインについて様々な配慮がなされていました。

「日本文教出版」においては、「学習の進め方」において、問題解決的な学習や道德的行為に関する学習について、話し合う場面を写真で具体的に提示するなど、授業展開がイメージしやすい工夫がされていました。また、登場人物が最初に提示されており、生徒が見通しを持って学習に取り組むことができるよう工夫されていました。さらに、いじめ問題をはじめ、キャリア教育、情報モラル、国際理解、安全など現代的な課題のユニット教材が各学年に多く配

置されており、教材も充実していました。

以上、学習会における報告です。

では、報告を受けまして1者を選びたいと考えます。ご意見をお願いします。

委員長職務代理者

道徳が教科化されるということで、いじめについてどう扱うか、それから、授業を展開していく時に、考えを議論し合うという授業形態を取ると思います。そこで、子どもたちや先生方が、最も使い易い教科書、つまり、課題を共有し合い、話し合いがし易い教科書を選ぶという観点で見ました。

情報モラル、いじめ、環境問題といった現代的なテーマについて、ユニット形式にされていて非常に分かりやすい教科書を選ぶという点で見ると、最も良いのは、「日本文教出版」だと思いました。

特に対話重視で、生徒間で話し合いをする時に、イラストや文章等、各者がいろんな方法を取っていますが、「日本文教出版」については、生徒が直接話し合っているシーンを、写真で見せているのが非常に多かったです。それにより、子どもたちは、対話を行うことについて、非常にイメージし易いと思いました。

もう1点は、カラーユニバーサルデザインです。このCUDのマークを取得しているのが、「廣済堂あかつき」と「教育出版」の2者でした。どの教科書も、ユニバーサルデザインについて、配慮はしていますが、一つの見方として、このカラーユニバーサルデザインの認証マークを取得されているということも、今後は考えた方がいいと思いました。

以上のことも含めて、検討しましたが、結論として、「日本文教出版」を推薦したいと思います。

山手委員

「光村図書」は、紙の質や文字がとても読み易いですし、コラムでの取り上げ方もよかったと思います。

「学校図書」がLGBTについて、特に2年生でしっかりと取り上げていたのは、印象深かったです。

先ほど、福元委員長職務代理者が推された「日本文教出版」は、いじめのこと、情報モラルのことについて、子どもたちがわかり易い文章が載せられていて良かったと思います。プラットホームに書かれている内容も、子どもたちにとっても役に立つことだと思いまし

た。福元委員長職務代理者がおっしゃったように、いじめがとても大きな問題なので、それを考えると、「東京書籍」もそれをしっかり捉えていて、いじめの当事者、あるいはそれを取り巻く子どもたち、傍観者としてそれでいいのかということや、多面的、多角的にユニットを組んで、色々な方面から子どもたちに、それを問題提起して考えさせるようにしていますので、「東京書籍」も捨てがたく、私は「日本文教出版」か「東京書籍」だと思います。

それで今日、皆さんの意見を聞き決定したいと思います。

西川委員

選定委員から答申をいただいて、それに縛られなければいけないということでもないのですが、その4者から選択するよう尊重したいとも思います。それを踏まえて、改めて4者について見ましたところ、これは答申でも書かれています。いじめや情報モラル、現代的な課題、主体的、対話的深い学び、それからユニバーサルデザインの視点からも納得できますので、特に、この4者ということは理解できます。

中でも、福元委員長職務代理者や、山手委員が言われたように、「日本文教出版」は、とてもわかりやすいです。いじめ、情報モラル、環境、国際、理解、防災安全、それから伝統文化を、ユニットで示されていて、学ぶ側の視点からも、指導する側の視点からも非常にわかり易いと感じましたし、持続可能な社会という文言もしっかり入っていますので、良いと思いました。ただ、自分の振り返りや評価ということ考えた時に、引っ掛かるところがありました。

「東京書籍」は、話し合いの手引きというものが冒頭にあり、どの授業でもそれを表出しして、深めることが出来るという工夫がされています。あるいは、考え、議論するという時に、テーマがしっかりしているということは優れていると思います。それから評価、振り返りについても、学期ごとでしているという点について、総合的に考えて、「東京書籍」が良いと思いました。

教育長

私は「日本文教出版」が良いと思いました。今、西川委員からありましたように、確かに評価については、小学校、中学校の先生方が、苦労される部分だと思いますが、発行者によって、自己評価をさせる場所、させない場所の違いがありました。その自己評価も、道徳の内容項目ごとに、自己評価を数値評価させる場所もあ

りますが、「日本文教出版」の評価は、教材ごとに、新しい発見や気づきがあり、あるいは自分の考えを深めることが出来たということなど、4つの観点について、自己評価をするということで、内容項目ごとの評価をさせている他者とは、少し意味合いが違うと思いますので、私は「日本文教出版」のこの評価については、特にマイナスとは考えませんでした。

また、先ほど、福元委員長職務代理者もおっしゃっていましたが、「日本文教出版」は、カラー写真が多用されて、イラストや漫画の多さも特徴的でした。今、道徳は、考え、議論することが求められています。子どもたちに、考え、議論させることは、なかなか難しいですが、教科書が、このように子どもたちの感心や興味を引きつける工夫をしているのは、良いと思います。また、「日本文教出版」と「廣済堂あかつき」の教科書にはノートがありますが、昨年度の小学校の道徳の時に、ノートをどうするのかということで、議論しました。今回は中学校ですし、重さを全て比較しても、ノートが入ったからといって、他者に比べて特に重くはありません。ノートがあることで、子どもたちも自分の考えをまとめ易いと思いましたので、これもプラス面として考えました。

また、特に道徳の教材は、何を教材としているのかということも大事だと思います。出所不明の教材を使うことは不安な部分もあり、教材の引用元が明記されているというのも、プラス面になりますので、総合すると、「日本文教出版」が良いと思います。

西川委員

振り返りと自己評価について、どんな授業でも、自己評価をしたり振り返るということは、とても大事だと思います。ただ、自己評価や自身の振り返りが他者から見た時に、重なっているかということ、そうではないということの方が多いと思います。むしろ、その自己評価が低い場合に、出来ていないと思っても、他者から見たら出来ている場合もありますし、それとは逆の場合もあります。そのずれがいけないということでは無く、その時にこそ、議論の種があったり成長の芽があります。それをどういう風に扱っていくのかということが、とても難しいと思います。

それからもう1つは評価の方法とスパンです。出来たことや、出来なかったことを、その1回の時間でどうだったかということに、こだわってしまうと、総合的な成長とか評価、振り返りが疎かにな

り、むしろその場限りのものになってしまい、自分自身も、あるいは他者からの評価に指導者も影響されてしまうということが懸念されます。その時に、そうではないというエビデンスを、指導者がしっかりと持っているのかと思います。

これが、今後どういう風になっていくのか、これをどう扱っていくのかという問題が考えられ、この1点が引っ掛かります。そういったことを考えると総合的に「東京書籍」かと思っています。特に評価という点で考えた場合「東京書籍」を推したいと思っています。ただ、先ほど言いましたように、「日本文教出版」の作りや、見易さということもありますので、皆様のご意見を聞かせていただいて、そこに賛同しても差し支えないと思っています。

教育長

「日本文教出版」の教科書で行う評価についてですが、道徳の評価は文章表記することになります。西川委員が子どもたちの自己評価と教員の評価との整合性の問題を言われました。例えば、数値で評価するのであれば、問題になる場合もあるかも知れませんが、文章表記であれば、子どもたち自身が、自分でどう思っているかということ参考にすることも、教員が子どもの成長の様子を評価するのに良い資料になると思いますので、マイナスには考えていません。

委員長

評価が気になるという意見と、マイナスではないという意見がありました。教育長が言いましたように、現場の先生が、それを良い方に変えられれば良いと思います。

私自身の意見を申し上げます。「日本文教出版」と「東京書籍」について、それぞれいいところを皆さんおっしゃっていただきました。「東京書籍」については、まず1番に教科書を見た時に、非常に洗練された教科書であるという印象を受けました。レイアウトも良く、先ほど西川委員がおっしゃったように、学び方が非常にわかりやすく書いてあります。子どもにとって押し付けでもないところがとても好印象でしたし、内容も良かったです。

また、いじめについて、どこの市でも課題ではありますし、本市でも大きな課題と捉えています。現在、問題行動が大幅に減って好ましい状況ですが、いじめは絶対に無くしたいという思いがあります。先日、管理職研修会の時に、魅力ある学校作りのために、子ども

もたちにとってどんな学校を望むかというところで、子どもたちが学校に来るのに2つのファクターがあり、それは人間関係と学力、つまり、授業についていけるということでした。人間関係をよくしようと思うなら、いじめについて特に扱ってほしいと思います。いじめの話は今までも触れていますが、それでもいじめの報告はあがってきます。その点から考えると、「日本文教出版」では、いじめを大きく取り上げており、1年生の28ページにも『いじめと向き合う』と出ています。子どもたちにこれは大切だということを印象付けることになると思いますし、その内容も非常によく出来ていると感じましたので、「日本文教出版」が良いと思いました。

あと、プラットホームというのがあります。プラットホームというのは、教材だけでは読み取ることができないことを、非常に論理的に分かり易く説明しているのが、私は良いと思いました。特に1年生の42ページのところに『怒りの感情と上手に向き合おう』という、アンガーマネージメントがありますが、これは、思春期の子どもたちにとっては、非常に重要だと私は思いました。

以上から、「日本文教出版」が良いと思います。皆さまの意見を総合しますと、福元委員長職務代理者は、色んな課題を共有し易い教科書であるということ、あるいはその対話重視ということで、子どもたちの話している写真が載っているのは良いということで、「日本文教出版」ということでした。

山手委員は「日本文教出版」は、いじめや情報モラルの取り上げ方がとても良いし、プラットホームも良いが、「東京書籍」の多面的ないじめの取り上げも良いということで迷っておられるということでした。

西川委員は、やはり先ほどの評価の点で、どうしても引っ掛かるので、「東京書籍」が良いのですが、「日本文教出版」も良いということでした。

教育長は評価について、西川委員の言う気になる点は、文章表記による評価なので、子どもたちの自己評価が低いからといって、先生から、道徳ができていないということにはならないだろうということ、また、カラー写真が多用されていること、子どもたちに考えて議論させる構成になっているということ、ノートも有り、引用元が明記されていることなどをあげて、「日本文教出版」が良いということでした。

皆さんの意見をまとめたいと思いますが、「日本文教出版」か「東京書籍」ということになります。

西川委員 評価のことについて、事務局がおられる中で、そういった課題もあるという理解で進めていくということでしたら、「日本文教出版」が良くないという訳ではないですし、大変分かり易くて良いと思います。

委員長 山手委員もよろしいですか。

山手委員 私も「日本文教出版」で結構です。

委員長 皆さん、日本文教出版ということで、よろしいでしょうか。
それでは中学校「特別の教科 道徳」の教科用図書につきましては、日本文教出版を採択することに決定いたします。
何か質問等がございますか。
ないようでしたら、平成31年度使用中学校「特別の教科 道徳」教科用図書についての審議を終了します。今後の日程等、担当課よりお願いします。

教育支援課長 今後の情報公開について確認をいたします。
教科用図書採択事務に関することについては一定期間、具体的には文部科学省の示す採択期間である8月31日まで非公開ということで進めてまいりましたが、本日の採択に係る審議を公開といたしましたので、採択結果のみ直ちに公開し、議事録等については整えた上で、9月1日以降に公開したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

委員長 異議はございますか。

全委員 異議なし

委員長 異議なしということですので、そのようにお願いいたします。
以上で議案審議を終了いたします。
では、本日の案件は全て終了いたしました。

これもちまして、本日の臨時教育委員会議を終了いたします。
ご苦労様でした。